

---

---

2015年度 第3四半期

# 決算説明資料

---

---



2016年 2月10日

# 2015年度 第3四半期 連結業績 (4月~12月)



(単位：億円)

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比増減 (率)
売上高	4,892	<b>4,911</b>	+ 19 (100.4%)
営業利益	249	<b>266</b>	+ 18 (107.1%)
(営業外損益)	(20)	<b>(6)</b>	(▲ 14)
経常利益	269	<b>272</b>	+ 3 (101.3%)
(特別損益)	(27)	<b>(19)</b>	(▲ 8)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	178	<b>186</b>	+ 7 (104.2%)
自己資本	2,197	<b>2,371</b>	+ 174 (107.9%)
総資産	5,486	<b>5,785</b>	+ 299 (105.5%)
経常利益率	5.5%	<b>5.5%</b>	
ROE	8.4%	<b>8.0%</b>	
EPS	91.00円	<b>94.69円</b>	
自己資本比率	40.1%	<b>41.0%</b>	
ネットD/Eレシオ	0.59	<b>0.58</b>	

# 2015年度 第3四半期 事業セグメント別業績 (4~12月)



(単位：億円)

		2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	1,491	<b>1,442</b>	96.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンサイトが、最大顧客である高炉の減産影響により販売数量減</li> <li>●エレクトロニクス、化学、造船で顧客操業度向上し、エアセパ中心に数量回復</li> <li>●電気料金の値上げ影響は薄らぐもガス価格の適正化を推進</li> </ul>
	経常利益	91	<b>102</b>	112.9%	
ケミカル関連	売上高	771	<b>712</b>	92.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タール蒸留事業は、原油価格下落の影響と世界的需要減少で極めて厳しい状況</li> <li>●川崎化成工業、第1四半期より連結</li> </ul>
	経常利益	17	<b>3</b>	15.8%	
医療関連	売上高	835	<b>870</b>	104.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療用ガスの増客増量</li> <li>●在宅医療が新製品レンタル数拡大で利益貢献</li> </ul>
	経常利益	44	<b>48</b>	108.6%	
エネルギー関連	売上高	369	<b>328</b>	88.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原油価格下落影響を大きく受けるも、増量増客施策により販売数量が増加</li> </ul>
	経常利益	17	<b>18</b>	105.9%	
農業・食品関連	売上高	560	<b>700</b>	125.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●飲料事業は販売回復に遅れ</li> <li>●農産・加工事業は、青果流通、加工ともに順調</li> <li>●第2四半期より青果専門店九州屋をM&amp;A</li> </ul>
	経常利益	21	<b>27</b>	132.1%	
その他 (海水、物流、その他)	売上高	865	<b>860</b>	99.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路用融雪塩が暖冬影響により減少</li> <li>●高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア増販</li> <li>●物流事業の荷扱い量増加、軽油安値継続による燃料費コスト低減</li> </ul>
	経常利益	59	<b>62</b>	104.1%	
(調整額)	経常利益	19	<b>12</b>	-	-
合計	売上高	4,892	<b>4,911</b>	100.4%	-
	経常利益	269	<b>272</b>	101.3%	

# 2015年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳（1）

## <産業ガス関連セグメント>

（10～12月／会計期間）

（単位：億円）

	20143Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
ガ ス	328	<b>304</b>	93%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●最大顧客の高炉減産を受け、オンサイトの酸素・窒素数量減少</li> <li>●ローリー、シリンダーを中心に新規顧客開拓</li> <li>●半導体向けバルクガスの数量堅調</li> </ul>
機 器 ・ 工 事	100	<b>91</b>	91%	●客先設備工事案件数増加なるも、大型工事が減少
情 報 電 子 材 料	92	<b>97</b>	105%	●半導体・電子材料分野で回復基調
計	520	<b>492</b>	95%	—

（4～12月／累計期間）

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
ガ ス	983	<b>908</b>	92%
機 器 ・ 工 事	247	<b>251</b>	102%
情 報 電 子 材 料	262	<b>283</b>	108%
計	1,491	<b>1,442</b>	97%

## 2015年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳（2）

### <ケミカル関連セグメント> (10～12月／会計期間)

(単位：億円)

	2014.3Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
コールケミカル	235	<b>170</b>	72%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス精製は、コークス炉ガス処理量減少、ガス価格低下</li> <li>●粗ベンゼンが原油価格下落等により価格低下</li> </ul>
ファインケミカル	24	<b>23</b>	96%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精密化学品はキノリン等が増販</li> <li>●機能化学品は客先需要減少により販売減</li> </ul>
川崎化成工業	-	<b>37</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●新規連結</li> </ul>
計	259	<b>230</b>	89%	-
シーケム(持分益)	0.4	<b>▲7.0</b>	-	●ニードルコークスの市況悪化、世界的需要減少

### (4～12月／累計期間)

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
コールケミカル	698	<b>522</b>	75%
ファインケミカル	73	<b>67</b>	92%
川崎化成工業	-	<b>123</b>	-
計	771	<b>712</b>	92%

シーケム(持分益)	2.1	<b>▲12.4</b>	-
-----------	-----	--------------	---

## 2015年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳（3）

### <医療関連セグメント> (10~12月/会計期間)

(単位：億円)

	2014.3Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
医療用ガス	24	<b>23</b>	99%	●医療用酸素は、新規病院獲得、地域ディーラー協業による拡販で数量増
設備	56	<b>62</b>	110%	●高度医療分野への取組みにより事業強化 ●病院設備全体の複合受注を目指し、戦略的営業を推進
医療サービス	116	<b>117</b>	101%	●受託滅菌の新規獲得 ●エムシーサービスの新規連結
医療機器	9	<b>10</b>	111%	●新生児・小児用人工呼吸器、ガス性医薬品が堅調
在宅医療	22	<b>23</b>	101%	●酸素濃縮器の新製品効果によりレンタル数増加
その他	60	<b>61</b>	102%	●半田の新規連結 ●歯科領域は堅調
計	287	<b>296</b>	103%	—

### (4~12月/累計期間)

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
医療用ガス	69	<b>69</b>	100%
設備	171	<b>180</b>	105%
医療サービス	349	<b>343</b>	98%

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
医療機器	26	<b>26</b>	101%
在宅医療	67	<b>69</b>	103%
その他	154	<b>183</b>	119%
計	835	<b>870</b>	104%

## 2015年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳（4）

### <エネルギー関連セグメント>

（10～12月／会計期間）

（単位：億円）

	2014.3Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
L P ガ ス	142	<b>121</b>	85%	●原油価格下落を受け、販売価格低下するも、L P ガス、灯油ともに新規顧客獲得で数量増加
天然ガス関連ほか	11	<b>10</b>	89%	●天然ガスが販売数量・単価ともに低下
計	153	<b>131</b>	85%	—

（4～12月／累計期間）

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
L P ガ ス	338	<b>300</b>	89%
天然ガス関連ほか	31	<b>28</b>	90%
計	369	<b>328</b>	89%

## <農業・食品関連セグメント>

（10～12月／会計期間）

（単位：億円）

	2014.3Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
食 品 関 連	47	<b>48</b>	103%	●外食チェーン向けに、冷凍野菜、スイーツ、業務用ソース等が堅調
農 業 関 連	126	<b>194</b>	154%	●農業・加工事業は、青果販売の増加、原料野菜の数量確保と価格見直し ●九州屋 新規連結
計	172	<b>242</b>	141%	—

（4～12月／累計期間）

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
食 品 関 連	124	<b>130</b>	105%
農 業 関 連	436	<b>570</b>	131%
計	560	<b>700</b>	125%



## <その他セグメント>

（10～12月／会計期間）

（単位：億円）

	2014.3Q	2015.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
日本海水	67	<b>69</b>	102%	●赤穂バイオマス発電が稼働
タテホ化学	24	<b>26</b>	109%	●高級電磁鋼板用ならびにヒーター用マグネシア販売増加
海水	91	<b>95</b>	104%	—
物流	101	<b>106</b>	105%	●食品物流、農産物・飼料等一般物流の荷扱い量増加
その他	105	<b>89</b>	84%	●N V（金属表面処理事業）が国内での受託処理堅調 ●エアゾールが販売増加
計	297	<b>289</b>	97%	—

（4～12月／累計期間）

	2014.3Q累計	2015.3Q累計	前年同期比
日本海水	169	<b>180</b>	107%
タテホ化学	68	<b>74</b>	109%
海水	237	<b>254</b>	107%
物流	294	<b>301</b>	102%
その他	334	<b>304</b>	96%
計	865	<b>860</b>	99%

## 2015年度通期連結業績（予想）

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、期初予想の通りといたします。

（単位：億円）

	2014通期	2015通期（予想）	前年同期比増減（率）
売上高	6,605	<b>7,000</b>	+395（106.0%）
営業利益	361	<b>400</b>	+39（110.7%）
経常利益	382	<b>420</b>	+38（110.1%）
当期純利益	207	<b>230</b>	+23（111.1%）
有利子負債	1,549	<b>1,708</b>	+159（110.3%）
自己資本	2,264	<b>2,435</b>	+172（107.6%）
総資産	5,476	<b>5,850</b>	+374（106.8%）
経常利益率	5.8%	<b>6.0%</b>	
ROE	9.6%	<b>9.8%</b>	
EPS	105.75円	<b>117.68円</b>	
自己資本比率	41.3%	<b>41.6%</b>	
ネットD/Eレシオ	0.58	<b>0.62</b>	

# 2015年度通期 事業セグメント別 売上高・経常利益（予想）



（単位：億円）

		2014通期		2015通期		前年同期比	
		実績	利益率	計画	利益率	増減	率
産業ガス関連	売上高	2,031	-	<b>1,950</b>	-	▲81	96%
	経常利益	127	6.3%	<b>143</b>	<b>7.3%</b>	+ 16	113%
ケミカル関連	売上高	1,026	-	<b>1,000</b>	-	▲26	97%
	経常利益	25	2.5%	<b>10</b>	<b>1.0%</b>	▲15	39%
医療関連	売上高	1,183	-	<b>1,350</b>	-	+167	114%
	経常利益	76	6.5%	<b>98</b>	<b>7.3%</b>	+ 22	128%
エネルギー関連	売上高	528	-	<b>550</b>	-	+ 22	104%
	経常利益	32	6.0%	<b>39</b>	<b>7.1%</b>	+ 7	123%
農業・食品関連	売上高	714	-	<b>970</b>	-	+256	136%
	経常利益	21	2.9%	<b>30</b>	<b>3.1%</b>	+ 9	143%
その他 (海水、物流、その他)	売上高	1,122	-	<b>1,180</b>	-	+ 58	105%
	経常利益	80	7.1%	<b>89</b>	<b>7.5%</b>	+ 9	112%
(調整額*)	経常利益	20	-	<b>11</b>	-	▲9	-
合計	売上高	6,605	-	<b>7,000</b>	-	+395	106%
	経常利益	382	5.8%	<b>420</b>	<b>6.0%</b>	+ 38	110%

\* 調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

**本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。**

**そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。**